

文化財関係研修の実施

発掘技術者研修「遺跡環境調査課程」

今年度の「遺跡環境調査課程」は、1月31日から

2月14日までの15日間をもって無事、終了しました。この研修は通称、環境考古学研修と呼ばれ、奈文研の専門研修の中でもっとも古い研修の一つです。数年前は3週間以上をかけて多岐にわたる講義内容を盛り込んでいましたが、いずこも出張旅費の削減のせい、研修参加者が減ったため、最近では研修期間を2週間に短縮して参加増を期待しているところです。今回は定員を1名オーバーする17名の研修でした。

この研修の特色の一つは、外部講師が13名と多く、その分野も地質、植物、動物と広いことで、受講する側もたいへんだっただろうと思われます。しかし、感想文を見る限りでは、この研修が有意義であり、現場で応用していきたいという意見が大半でした。

一方、2回の経験交流会に担当職員以外の奈文研からの参加者がほとんどなかったことが残念という感想もありました。 (埋蔵文化財センター)